

【気どらない“座談会”を全国から集まる 200 人の方とやってみませんか？】

第8回目を迎えるセラピストによる全国規模の合同発表会「フラットぷらっと」は今年、見届け人荒 木茂先生、大会実行委員長 森健太郎氏と共に石川県で開催を引き受けさせていただくことになりました。本大会は約 10 年前に、発起人安里和也氏と当時全国各地で積極的に活動をされていた同年代のセラピスト達が共通した想いを抱き「誰が偉いわけでもなく、みんなが同じ立場（フラット）で、気軽に集まって（ぷらっと）、セラピーについて熱く語り合いたいという思いのもとに、理学療法士、作業療法士などのセラピストが一堂に会し、真剣にディスカッションできる合同発表会」を立ち上げたことがキッカケだと聞いています。

その後、徐々に参加者が増え認知度が高まるとともに、この大会は、全国の若手セラピストを中心とした参加者各々の学びと成長の糧を生み出し、また全国のセラピスト達とのつながりを創る貴重な機会と発展してきたと思われまます。

このように、今でも毎年、特に若手セラピストに大きな影響を与える本大会ですが、一方で立ち上げ当時の中心メンバーは今や 40 歳前後となり、各々が職場・社会における各分野の第一線で活動または奮闘する年代となりました。

つまり、現在の大会に集うのは 20 代～40 代が中心となり、参加者の年齢・経験・活動分野の幅が大きく広がりはじめたと言えるでしょう。それにより、参加者が求める内容は、より多様性と専門性に富んできました。同時に、若手への大きな影響を与えると共に、立ち上げ当初のメンバーを主に、参加する“年輩者”が背負う「責任」というものを、少し意識しなくては…？と感じられるようになってきたのも事実かもしれません。

そこで今回、私共で開催を担うにあたり、あえて“初心にかえる”をテーマとして掲げようと考えました。

現代は、情報や刺激に溢れ、それに伴い変化が目まぐるしく、ときにそれらは不安や焦りや恐怖心をあおることも少なくない社会です。

私たちは、目の前の対象者はもちろん、日々臨床や研究、教育に励む一方で、情報や変

化に日々振り回されること、またそれらが生み出す良くも悪くも多様な信念や価値観に對峙し、悩み苦悩することも少なからずあるかもしれません。

だからこそ、今一度、立場を問わず、様々な年代の多様な環境に身を置くみなさんで一堂に会し、自分たちの日常の疑問や相談を含めて、ざっくばらんに、気楽に、熱く語り合って（ディスカッションして）みませんか？

決して、互いの信念や価値観を“対立”させるのではなく、いろいろな考え方や診方そしてセラピスト（ひと）に触れ、出会うことで、参加者みなさん一人ひとりの成長とそこでつながる（生まれる）関係性から得られる思いがけないヒントや成長を、是非、持ち帰っていただきたいと思います。

伝統と文化が息づく街「金沢」の地で開催できることを心から喜ぶとともに、この機会が皆さんにとって、ひとときの“イベント（おまつり事）”として過ぎ去ってしまわぬように…スタッフ一同、心を込めて準備と当日の運営にあたりたいと思っております。

一同、みなさんとお会いできること、また一緒に過ごす時間を楽しみにしております。

本大会は、みなさんの協力と参加があってこそ良い会と成りうるでしょう。たくさんの方の参加と演題応募をお待ちしています！！どうぞよろしく願いいたします。

2016年4月吉日

フラットぷらっと 2016in 金沢 大会長 奥佐千恵